

「福祉機器の利用事例とニーズの発信」

社会福祉法人日本視覚障害者団体連合
事業部 部長 逢坂 忠

1. 利用者からの声

日常生活用具の自立生活支援用具である歩行時間延長信号機用小型送信機（シグナルエイド）は、視覚障害者の外出時、特に道路を横断する際の安全な歩行に重要な役割を果たしている。シグナルエイドは、信号機の稼働時間を延長することに加え、信号機に近づくことなく安全に音響式信号機を稼働させることができる。

しかしながら、全ての信号機が音響式ではなく、また、音響式信号機の稼働時間には制限がある。

音響式信号機が稼働していない時間帯に、視覚障害者が道路を横断し事故にあう不幸な事例がいまだに起きている。

このような事故を無くすための対策が急がれる。

シグナルエイドの利用者からは、本機の機能を拡大し、信号機の状態を音や音声で確認できる機能を求める声が寄せられている。

2. 生産停止になったことによるニーズ

「テレビが聞ける」ラジオは、視覚障害者が情報を入手するツールの一つとして高い評価を得ている。本機の特徴は次のとおりである。

- ・ テレビはワンセグ方式で地上波デジタル放送（地デジ）が受信できる。
- ・ AM・FM ラジオ対応、ワイド FM 対応。
- ・ 主音声・副音声切り替え機能。
- ・ 点字表記がある。
- ・ ボタン操作の音声案内がある。
- ・ 緊急地震速報受信機能がある。

本機は2019年に生産を停止した。大手家電メーカーからテレビの音声で聞けるラジオが取り扱われているが、点字表記がない、操作時の音声案内がない、緊急地震速報の受信機能がないなど、一長一短である。

視覚障害者が使いやすくテレビの音声で聞けるラジオの開発に期待する。

3. 視覚障害当事者から問い合わせが多い事例

日視連の用具購買所には、毎日様々な要望や問い合わせがある。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「音声対応のパルスオキシメーターの取扱いはないか」という問い合わせが寄せられる。

独自に調べたところ、「チェスト」というメーカーで生産していたが、すでに生産停止となっており在庫も無いとのことであった。

1日も早い、音声対応のパルスオキシメーターの開発を要望する。